

仙台青葉学院短期大学 履修規程

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、仙台青葉学院短期大学学則（以下「学則」という。）第22条第4項、第24条第2項及び第36条第2項の規定により、授業科目の履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 各授業科目の単位数及び必修・選択の別等は、別表第一のとおりとする。

(単位修得)

第3条 単位を修得するには、各授業科目所定の時間数を履修し、成績評価において合格の判定を受けなければならない。

(履修の登録)

第4条 履修する授業科目は、前期及び後期の所定の期日までに登録を行わなければならない。

- 2 所定の期日までに登録を行わない場合は、当該学期の修学の意味がないものとみなす。
- 3 登録を行わなかった授業科目は、履修することができない。
- 4 変更登録期間後の変更は認めない。

(履修登録の制限)

第5条 次の各号に掲げる授業科目は、履修登録をすることができない。

- (1) 在学年次より上級年次に配当されている授業科目
 - (2) 既に単位を修得した授業科目
 - (3) 同一時限の重複する授業科目
- 2 履修登録の上限については、学則第22条第2項及び第3項の規定に基づき、別に定める。

(試験)

第6条 試験は、定期試験及び随時試験とする。

- 2 定期試験は、その授業の開講時期の末に期間を定めて行う。

- 3 随時試験は、規定の授業回数終了後、定期試験の期間以外に行う。
- 4 第1項の試験は、筆記試験、口述試験、実技試験、学習成果物による試験又は論文試験により行う。
- 5 次の各号に該当する授業科目は、試験を受験することができない。
 - (1) 当該授業科目の履修登録をしていない場合
 - (2) 当該授業科目の一般欠席時間数が総時間数の3分の1を超える場合
 - (3) 当該授業科目の一般欠席時間数と公認欠席時間数を合計した時間数が、総時間数の2分の1を超える場合
 ただし、こども学科の保育士資格及び教育職員免許状（幼稚園教諭二種免許状）取得に関する授業科目については、当該授業科目の一般欠席時間数と公認欠席時間数を合計した時間数が、総時間数の3分の1を超える場合

（成績評価等）

第7条 学生の成績は、前条の試験のほか、授業時間内に行う臨時試験、課題レポート、発表、討論、提出作品、授業への参加態度等（以下「臨時試験等」という。）を勘案して評価する。

- 2 成績評価方法は、シラバスにあらかじめ示す。
- 3 成績評価は、下表のとおり、秀（AA）、優（A）、良（B）及び可（C）を合格とし、不可（D）、評価不能（E）を不合格とする。また、それぞれの成績評価に対してグレード・ポイント（以下「GP」という。）を付与する。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満	0
	評価不能 (E)	(1) 前条第5項に該当する科目 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が授業科目ごとに定める時間数を満たさない場合	0

なお、第9条の再試験で合格の場合の成績評価は、可（C）、GPは1ポイントとする。

- 4 履修登録した各授業科目の単位数に当該授業科目のGPを乗じた値を、履修登録した全授業科目について総計し、その値を履修登録した授業科目の総単位数で除して算出する平均値をグレード・ポイント・アベレージ（以下「GPA」という。）という。GPAの活用方法等については、別に定める。

5 成績評価及びGPAは、学生及び保証人（保護者等）へ成績通知表をもって通知する。

（追試験）

第8条 次項第1号又は第2号に該当する事由で欠席した学生は、追試験願を提出することで追試験を行う。その他の事由により、試験を受験することができなかった学生に対しては、追試験の願い出を教務委員会で審議し、教授会に諮って、受験を認めた場合に限り追試験を行う。

2 前項の規定により、追試験の受験を希望する学生は、所定の期日までに追試験願を提出しなければならない。この場合、次の各号のいずれかの欠席事由により、信憑書類を添付しなければならない。

(1) 傷病の場合

(2) 公認欠席規程第3条第2号、第4号から第6号までに該当する場合

(3) その他

3 追試験の実施日時は、担当教員が定める。

4 追試験は、当該受験許可が与えられた学生に対し、1回のみ実施する。

5 追試験における点数は、原則として試験に準ずる。ただし、看護学科の専門教育分野については、追試験その他の成績評価の合計を80点満点で評価する。

（再試験）

第9条 成績評価が不可（D）となった学生に対しては、担当教員が認めた科目に限り、再試験を行う。

2 試験を欠席し、前条の事由による追試験が認められなかった学生に対しては、教務委員会学科分科会及び教授会が認めた場合に限り再試験受験を認める。

3 当該受験許可が与えられた学生は、所定の期日までに1科目あたり2,000円の受験料とともに再試験願を提出しなければならない。

4 再試験の実施日時は、担当教員が定める。

5 再試験は、当該受験許可が与えられた学生に対し、原則として1回のみ実施する。

6 再試験結果に基づいた成績評価は、取得した点数にかかわらず60点（可（C））を上限とする。

（不正行為）

第10条 試験（追試験を含む。）において不正行為を行った学生に対しては、学則第42条により懲戒するほか、当該学期期間中に成績評価する授業科目の評価をすべて不可（D）とし、再試験は認めない。

2 再試験における不正行為も前項に準じる。

- 3 成績評価に係る臨時試験等において不正行為があった場合は、その都度教務委員会で審議する。

(卒業)

第11条 学則第35条の定めのとおり、卒業するためには、修業年限以上在学し、所定の単位数を修得しなければならない。

- 2 前項の卒業の時期は、学年末とする。ただし、卒業延期になった学生が前期に卒業に必要な単位を修得した場合は、学年末を待たず前期末（9月）の卒業を認める。

第2章 看護学科

(授業科目等)

第12条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修14単位
- (2) 専門教育分野 必修89単位

(履修要件)

第13条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 「基礎看護学実習Ⅱ」
「看護学概論」、「看護倫理」、「基礎看護技術Ⅰ」、「基礎看護技術Ⅱ」、「基礎看護技術Ⅲ」及び「基礎看護学実習Ⅰ」の単位を修得していること。
- (2) 臨地実習の「統合実習」
「地域・在宅看護論実習Ⅱ」「成人看護学実習」「老年看護学実習」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」の単位を修得していること。

(進級)

第14条 在学年次に配当されているすべての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第15条 在学年次に配当されているすべての科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

- 2 学則第6条第1項ただし書の規定により、学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第3章 ビジネスキャリア学科

(授業科目等)

第16条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修7単位及び選択2単位以上
- (2) 専門教育分野及び演習分野 必修24単位及び選択29単位以上

(ゼミナールの履修要件)

第17条 ゼミナール（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）を履修する学生は、所属を希望するゼミナールで定められた所定の要件を満たす必要がある。

第4章 リハビリテーション学科

(授業科目等)

第18条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修14単位
- (2) 専門教育分野 必修90単位以上

(臨床実習の履修要件)

第19条 原則として、各実習区分の臨床実習開始前に行われる必修科目試験をすべて合格していることを履修要件とする。ただし、「臨床実習Ⅰ（体験実習）」については、この限りでない。

(進級)

第20条 在学年次に配当されているすべての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第21条 在学年次に配当されているすべての必修科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

- 2 学則第6条第1項ただし書の規定により、学長が特別な事情があると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第5章 こども学科

(授業科目等)

第22条 第2条に規定する授業科目の単位を、必修38単位及び選択24単位以上修得し、かつ、次のとおり修得しなければならない。

(1) 教養教育分野		13単位以上
(2) 専門教育分野	幼児教育の基礎	4単位以上
	基礎技能	2単位以上
	教育及び保育の本質	6単位以上
	教育及び保育の制度	2単位以上
	教育及び保育の対象理解	3単位以上
	教育及び保育の計画と方法	12単位以上
	ゼミナール	4単位

(実習の履修要件)

第23条 実習科目を履修する学生は、以下の各号の要件を満たすものとする。

- (1) 所定の科目の単位を修得した者。所定の要件については別に定める。ただし、未修得者については、当該科目の成績が一定以上である場合、学科の判断で実習の履修を認めることがある。
- (2) 所定の実習指導科目を受講すること。なお、実習指導を受講する際の内規については別に定める。

(保育士資格の取得)

第24条 保育士資格を取得しようとする学生は、第11条及び第22条の要件を満たすほか、別表第二に定める保育士資格に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

(教育職員免許状の取得)

第25条 教育職員免許状(幼稚園教諭二種免許状)を取得しようとする学生は、第11条及び第22条の要件を満たすほか、別表第三に定める幼稚園教諭免許状取得に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

第6章 歯科衛生学科

(授業科目等)

第26条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得し、かつ選択科目を7単位以上修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修10単位

(2) 専門教育分野 必修83単位

(進級)

第27条 在学年次に配当されているすべての必修科目の単位を修得した場合に、在学年次の1年次上の学年に進級することができる。

(留年)

第28条 在学年次に配当されているすべての必修科目の単位を修得できなかった場合は、留年となる。

2 学則第6条第1項ただし書の規定により、学長が特別な事情であると認める場合を除き、同一学年に2年を超えて在学することはできない。

第7章 栄養学科

(授業科目等)

第29条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修8単位及び選択2単位以上
- (2) 専門教育分野 必修54単位

(実習の履修要件)

第30条 実習科目を履修する学生は、所定の科目の単位を修得していなければならない。なお、所定の要件については、別に定める。

(栄養士資格の取得)

第31条 栄養士資格を取得するには、第11条及び第29条の要件を満たすほか、別表第四に定める栄養士資格に関する授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

第8章 観光ビジネス学科

(授業科目等)

第32条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修14単位
- (2) 専門教育分野 必修20単位及び選択22単位以上
- (3) 演習分野 必修3単位及び選択3単位以上

第33条 削除

第9章 現代英語学科

(授業科目等)

第34条 第2条に規定する授業科目の単位を、必修40単位及び選択22単位以上修得しなければならない。

第10章 言語聴覚学科

(授業科目等)

第35条 第2条に規定する授業科目の単位を、次のとおり修得しなければならない。

- (1) 教養教育分野 必修13単位
- (2) 専門教育分野 必修83単位及び選択2単位以上

(臨床実習の履修要件)

第36条 次の授業科目を履修する学生は、当該各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 「臨床実習Ⅰ（見学実習）」

「言語聴覚障害学の基礎」の単位を修得していること。

- (2) 「臨床実習Ⅱ（評価実習）」

専門展開科目の各区分（「臨床実習」以外）から1科目以上の単位を修得していること。
また、「臨床実習Ⅰ（見学実習）」の単位を修得していること。

- (3) 「臨床実習Ⅲ（総合実習前期）」「臨床実習Ⅳ（総合実習後期）」

専門展開科目の各区分（「臨床実習」以外）から次のとおり単位を修得していること。
「言語聴覚障害学総論」, 「言語発達障害学」, 「聴覚障害学」の各区分から2科目以上,
「失語症・高次脳機能障害学」, 「発声発語・嚥下障害学」の各区分から3科目以上の単位
を修得していること。 また、「臨床実習Ⅱ（評価実習）」の単位を修得していること。

2 前項第2号及び第3号の規定にかかわらず、臨床実習科目の履修要件を満たさない場合であっても、学科の判断により、臨床実習科目の履修を認める場合がある。

第11章 改正

(改正)

第37条 この規程の改正は、教務委員会の議を経て、運営協議会の承認を得て学長が決定する。

附 則

- 1 この規程は平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程の変更については、平成23年4月1日から施行する。
- 2 第11条の変更については、平成23年度入学生から適用し、在校生については、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この規程の変更は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第15条の規定は、平成23年度入学者から適用し、それ以前に入学した者については、なお従前のおりとする。
- 3 この規程の変更に伴い、試験規程、追試験および再試験実施細則を廃止する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、別表第一、第15条及び第16条の規定については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第14条第2項及び第20条第2項の規定については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年6月25日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第14条第2項、第20条第2項及び第28条第2項の規定については、平成25年度入学者から適用し、平成24年度以前の入学者は、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 6 条、第 15 条、第 17 条の規定については、平成 28 年度入学者から適用し、平成 27 年度以前の入学者は、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 15 条及び第 29 条の規定については、平成 29 年度入学者から適用し、平成 28 年度以前の入学者は、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 32 条の規定については、平成 30 年度入学者から適用し、平成 29 年度以前の入学者は、なお従前のおりとする。

附 則

- 1 この規程は、平成30年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の第 18 条の規定は、平成 30 年度入学者から適用し、平成 29 年度以前の入学者及び同年度以前の入学者の属する年次に転入学又は再入学する者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 26 条並びに別表第一及び別表第四の改正については、平成 31 年度入学者から適用し、平成 30 年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 16 条、第 22 条及び第 32 条並びに別表第一から別表第三までの改正については、平成 31 年度入学者から適用し、平成 30 年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 18 条及び別表第一の改正については、令和 2 年度入学者から適用し、平成 31 年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。ただし、第19条の改正については、令和2年度入学者から適用し、平成31年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。ただし、第16条、第17条、第32条から第34条まで及び別表第一の改正については、令和3年度入学者から適用し、令和2年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。ただし、在学生については、従前のおりとする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行する。ただし、在学生については、従前のおりとする。

附 則

この規程は、令和4年4月1日から施行し、改正後の規定は、令和4年度入学者から適用し、令和3年度以前の入学者については、なお従前のおりとする。

履修規程別表第一

(看護学科)

科目区分		授業科目の名称	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○	
		英語	1				○	
		哲学入門	1			○		
	人間と社会	現代の社会	2			○		
		法律入門	2			○		
		生涯学習論	1			○		
		心理学概論	1			○		
		家族社会学	1			○		
	人間と科学	情報処理	1				○	
		自然科学入門	1			○		
数理解析入門		1			○			
		健康スポーツ科学	1				○	
教養教育分野 計			14				—	
専門基礎分野	人体の構造と機能	人体構造と機能Ⅰ	1			○		
		人体構造と機能Ⅱ	1			○		
		人体構造と機能Ⅲ	1			○		
		人体構造と機能Ⅳ	1			○		
		生化学	1			○		
		微生物学	1			○		
	疾病の成り立ちと回復の促進	栄養学	1			○		
		病理学	1			○		
		病態治療学Ⅰ(検査・治療)	1			○		
		病態治療学Ⅱ(循環器)	1			○		
		病態治療学Ⅲ(消化器)	1			○		
		病態治療学Ⅳ(内分泌、泌尿・生殖)	1			○		
		病態治療学Ⅴ(運動器、中枢・末梢神経)	1			○		
		病態治療学Ⅵ(血液・造血器・免疫)	1			○		
		病態治療学Ⅶ(呼吸器、感覚器)	1			○		
		看護薬理学	1			○		
	健康支援と社会保障制度	生命科学と医療倫理	1			○		
		人間関係論	1			○		
		保健行動学	1			○		
		公衆衛生学	1			○		
		保健医療福祉サービス論	1			○		
	チーム医療論	1				○		
専門基礎分野 計			22				—	
専門教育分野	基礎看護学	看護学概論	1			○		
		看護倫理	1			○		
		基礎看護技術Ⅰ	1				○	
		基礎看護技術Ⅱ	2				○	
		基礎看護技術Ⅲ	1				○	
		基礎看護技術Ⅳ	2				○	
	基礎看護学 計			8				—
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ	1			○		
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	2				○	
		地域・在宅看護概論Ⅱ	1			○		
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	2				○	
	地域・在宅看護援助論 計			6				—
	領域横断看護	看護展開論Ⅰ	1			○		
		看護展開論Ⅱ	2				○	
		看護展開論Ⅲ	2				○	
		健康状態別看護Ⅰ	1			○		
		健康状態別看護Ⅱ	2				○	
	健康状態別看護Ⅲ	1			○			
	領域横断看護 計			9				—
	成人看護学	成人看護学概論	1			○		
		成人看護学援助論Ⅰ	2				○	
		成人看護学援助論Ⅱ	1				○	
		成人看護学 計			4			
	老年看護学	老年看護学概論	1			○		
		老年看護学援助論Ⅰ	1				○	
		老年看護学援助論Ⅱ	1				○	
		老年看護学 計			3			
	小児看護学	小児看護学概論	1			○		
		小児看護学援助論Ⅰ	1				○	
		小児看護学援助論Ⅱ	1				○	
		小児看護学 計			3			
	母性看護学	母性看護学概論	1			○		
		母性看護学援助論Ⅰ	1				○	
		母性看護学援助論Ⅱ	1				○	
	母性看護学 計			3				—
	精神看護学	精神看護学概論	1			○		
		精神看護学援助論Ⅰ	1				○	
		精神看護学援助論Ⅱ	1				○	
		精神看護学 計			3			
	看護の統合と実践	医療安全管理論	1			○		
		災害看護	1				○	
		看護管理論・国際看護	1			○		
		看護研究Ⅰ	1				○	
		看護研究Ⅱ	1				○	
	看護の統合と実践 計			5				—
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1					○
		基礎看護学実習Ⅱ	1					○
地域・在宅看護論実習Ⅰ		1					○	
地域・在宅看護論実習Ⅱ		2					○	
領域横断看護実習		3					○	
成人看護学実習		3					○	
老年看護学実習		3					○	
小児看護学実習		2					○	
母性看護学実習		2					○	
精神看護学実習		2					○	
統合実習		3					○	
臨地実習 計			23				—	
専門分野 計			67				—	
専門教育分野			89				—	
総計			103				—	

履修規程別表第一

(ビジネスキャリア学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態		
		必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○	
		英語	1			○	
		中国語		2		○	
		韓国語		2		○	
	人間と社会	法律入門	2			○	
		現代の社会	2			○	
	人間と科学	情報処理	1				○
スポーツ科学			2			○	
教養教育分野 計		7	6			-	
専門教育分野	基礎科目	人間関係論		2		○	
		心理学		2		○	
		ホスピタリティ論		2		○	
		プレゼンテーション演習	2				○
		情報処理応用演習	2				○
		東北学		2		○	
		地域連携概論		2		○	
		ビジネスマナー	2			○	
		民法		2		○	
		金融リテラシー入門	2			○	
	基幹科目	経済学	2			○	
		会計学	2			○	
		経営学	2			○	
		現代企業論	2			○	
		ビジネス実務総論	2			○	
		ビジネス法務入門		2		○	
		税金入門		2		○	
		ビジネス文書実務		2		○	
		秘書実務Ⅰ		2			○
		秘書実務Ⅱ		2			○
	展開科目	情報テクノロジー		2		○	
		情報処理実務		2			○
		基礎簿記		2		○	
		上級簿記Ⅰ		2		○	
		上級簿記Ⅱ		2		○	
		簿記演習Ⅰ		2			○
		簿記演習Ⅱ		2			○
		社会保障論		2		○	
		医療事務入門		2		○	
		診療報酬請求演習Ⅰ		2			○
		診療報酬請求演習Ⅱ		2			○
		レセコン演習		2			○
		コミュニケーション心理		2		○	
		ビジネス心理		2		○	
		ビジネスコミュニケーション		2		○	
		ビューティビジネス論		2		○	
		マーケティング		2		○	
		広告論		2		○	
		流通論Ⅰ		2		○	
		流通論Ⅱ		2		○	
	スポーツビジネス論		2		○		
	公務員対策Ⅰ		2		○		
	公務員対策Ⅱ		2		○		
	公務員対策Ⅲ		2		○		
	公務員対策演習Ⅰ		2			○	
	公務員対策演習Ⅱ		2			○	
	専門教育分野 計		18	74			-
演習分野	演習科目	インターンシップ		1			○
		基礎キャリア形成	1			○	
		数理基礎Ⅰ	1			○	
		数理基礎Ⅱ	1			○	
		実践キャリア形成Ⅰ	1			○	
		実践キャリア形成Ⅱ		1		○	
		社会人基礎力演習Ⅰ	1			○	
		社会人基礎力演習Ⅱ	1			○	
		ゼミナールⅠ		1		○	
		ゼミナールⅡ		1		○	
ゼミナールⅢ		1		○			
演習分野 計		6	5			-	
総計		31	85			-	

履修規程別表第一

(リハビリテーション学科 理学療法専攻)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態				
		必修	選択	自由	講義	演習	実習		
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○			
		コミュニケーション論	1			○			
		英語 I	1				○		
		英語 II	1			○			
	人間と社会	歴史と文化	1			○			
		大学生活論	1			○			
		暮らしの中の法律	1			○			
		現代の社会	1			○			
	人間と科学	心理学概論	1			○			
		情報処理	1				○		
		生物学	1			○			
		物理学	1			○			
		健康スポーツ科学	2			○			
	教養教育分野 計		14				-		
専門支持科目	人体の構造・機能と発達	解剖学	2			○			
		解剖学演習	1				○		
		解剖学実習	1					○	
		生理学 I (神経・運動・感覚)	2			○			
		生理学 II (内臓・代謝・血液)	1				○		
		生理学実習	1					○	
		運動学	2			○			
		運動学演習	1				○		
		運動学実習	1					○	
		人間発達学	1			○			
	疾病の成り立ちと回復	病理学	1			○			
		医学概論	1			○			
		内科学	1			○			
		神経学	2			○			
		臨床医学特論	1			○			
		小児科学	1			○			
		整形外科総論	1			○			
		整形外科各論	1			○			
		精神医学総論	1			○			
		老年学	1			○			
	リハビリテーションと健康・医療の連携	臨床心理学	1			○			
		リハビリテーション栄養学	1			○			
		救急救命医学	1			○			
		公衆衛生学	1			○			
		社会福祉概論	1			○			
		医療関連法規	1			○			
		リハビリテーション概論	1			○			
		専門支持科目 計		31				-	
		専門展開科目	学基礎法理	理学療法概論	1			○	
				運動療法基礎理論	1			○	
				理学療法研究法	1			○	
基礎理学療法学 計			3				-		
理学療法管理	理学療法管理学		2			○			
	理学療法管理学 計		2				-		
理学療法評価	基礎理学療法評価学概論		1				○		
	基礎理学療法評価学実習		1					○	
	骨関節障害理学療法評価学実習		1					○	
	神経障害理学療法評価学実習		1					○	
	臨床理学療法評価学演習		2				○		
理学療法評価学 計			6				-		
系統別理学療法	骨関節障害理学療法		2			○			
	骨関節障害理学療法演習		2				○		
	神経障害理学療法		2			○			
	神経障害理学療法演習		2				○		
	内部障害理学療法		2			○			
	内部障害理学療法演習		2				○		
	神経筋疾患理学療法		1			○			
	発達障害理学療法		1			○			
	物理療法		1			○			
	物理療法演習		1				○		
	義肢装具学		1			○			
	義肢装具学演習		1				○		
	日常生活活動学		1			○			
日常生活活動学演習	1					○			
理学療法特論	1					○			
系統別理学療法学 計			21				-		
臨床実習	臨床実習 I (体験実習)		1					○	
	臨床実習 II (評価実習)		4					○	
	臨床実習 III (総合実習)		7					○	
	臨床実習 IV (総合実習)		7					○	
	地域理学療法実習		1					○	
臨床実習 計			20				-		
学地域法理	地域理学療法		1			○			
	地域理学療法演習		1				○		
	保健医療福祉連携論		1				○		
地域理学療法 計			3				-		
専門展開科目 計			55				-		
特別演習	専門支持科目特別演習		2				○		
	専門展開科目特別演習		2				○		
	特別演習 計		4				-		
専門教育分野 計			90				-		
総計			104				-		

履修規程別表第一

(リハビリテーション学科 作業療法学専攻)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			
		必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○		
		コミュニケーション論	1			○		
		英語 I	1				○	
		英語 II	1			○		
		歴史と文化	1			○		
	人間と社会	大学生活論	1			○		
		暮らしの中の法律	1			○		
		現代の社会	1			○		
		心理学概論	1			○		
	人間と科学	情報処理	1				○	
		生物学	1			○		
		物理学	1			○		
		健康スポーツ科学	2			○		
教養教育分野 計		14				—		
専門支持科目	人体の構造・機能と発達	解剖学	2			○		
		解剖学演習	1				○	
		解剖学実習	1					○
		生理学 I (神経・運動・感覚)	2			○		
		生理学 II (内臓・代謝・血液)	1				○	
		生理学実習	1					○
		運動学	2			○		
		運動学演習	1				○	
		運動学実習	1					○
	疾病の成り立ちと回復	人間発達学	1			○		
		病理学	1			○		
		医学概論	1			○		
		内科学	1			○		
		神経学	2			○		
		臨床医学特論	1			○		
		小児科学	1			○		
		整形外科学総論	1			○		
		精神医学総論	1			○		
		精神医学各論	1			○		
		老年学	1			○		
	リハビリテーション医療	臨床心理学	1			○		
		リハビリテーション栄養学	1			○		
		救急救命医学	1			○		
		公衆衛生学	1			○		
リハビリテーション医療	社会福祉概論	1			○			
	医療関連法規	1			○			
	リハビリテーション概論	1			○			
	リハビリテーション概論	1			○			
専門支持科目 計		31				—		
専門教育分野	基礎作業療法学	作業療法概論	1			○		
		作業科学	1			○		
		作業療法理論	1			○		
		基礎作業学演習	2				○	
		作業療法研究法	1			○		
	基礎作業療法学 計		6				—	
	作業療法管理	作業療法管理学	1			○		
		作業療法管理学演習	1				○	
	作業療法管理学 計		2				—	
	作業療法評価学	作業療法評価学原論	1			○		
		身体機能作業療法評価学実習	1				○	
		精神機能作業療法評価学実習	1					○
		疾患別作業療法評価学実習 I	1					○
		疾患別作業療法評価学実習 II	1					○
	作業療法評価学 計		5				—	
	作業療法治療学	作業療法治療学	1			○		
		作業療法治療学演習	1				○	
		身体機能作業療法学実習	1					○
		精神機能作業療法学実習	1					○
		病期別作業療法学実習 I	1					○
		病期別作業療法学実習 II	1					○
		病期別作業療法学実習 III	1					○
		作業療法基礎演習	1					○
		作業療法応用演習	1					○
		作業療法総合演習	1					○
		高次神経障害作業療法学	1					○
		日常生活活動学	1			○		
		社会生活行為学演習	1					○
		義肢装具学	1					○
		臨床作業療法演習 I	2					○
	臨床作業療法演習 II	2					○	
	臨床作業療法演習 III	1					○	
	作業療法治療学 計		19				—	
	臨床実習	臨床実習 I (体験実習)	2					○
		臨床実習 II (評価実習)	6					○
		臨床実習 III (総合実習)	7					○
		臨床実習 IV (総合実習)	7					○
		地域作業療法実習	1					○
	臨床実習 計		23				—	
	地域作業療法	地域リハビリテーション論	1			○		
		職業リハビリテーション論	2			○		
		保健医療福祉連携論	1				○	
	地域作業療法 計		4				—	
	専門展開科目 計		59				—	
	特別演習	専門支持科目特別演習			2		○	
		専門展開科目特別演習			2		○	
	特別演習 計				4		—	
専門教育分野 計		90		4		—		
総計		104		4		—		

履修規程別表第一
(こども学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態		
		必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	英語Ⅰ	1			○	
		英語Ⅱ	1			○	
		日本語表現法	1			○	
	人間と社会	日本国憲法	2			○	
		現代の社会	2			○	
		法律入門	2			○	
	人間と科学	体育基礎	1			○	
		体育実技	1				○
		情報処理Ⅰ	1			○	
		情報処理Ⅱ	1			○	
	レクリエーション論	1	1		○		
	教養教育分野 計	13	1			—	
専門教育分野	幼児教育の基礎	幼児と環境	2			○	
		幼児と健康	1			○	
		幼児と表現	2			○	
		幼児と人間関係	1			○	
		幼児教育の基礎 計	6				—
	基礎技能	音楽表現Ⅰ	1			○	
		音楽表現Ⅱ	1			○	
		音楽表現Ⅲ	1			○	
		造形表現	1			○	
		総合表現演習Ⅰ	1			○	
		総合表現演習Ⅱ	1			○	
		基礎技能 計	6				—
	教育及び保育の本質	教職論	2			○	
		保育原理	2			○	
		教育原理	2			○	
		社会福祉	2	2		○	
		教育及び保育の本質 計	6	2			—
	教育及び保育の制度	教育制度論	1			○	
		子ども家庭福祉	2			○	
		社会的養護Ⅰ	2			○	
		教育及び保育の制度 計	5				—
	教育及び保育の対象理解	子ども理解の理論と方法	1				○
		生涯発達心理学Ⅰ	2			○	
		生涯発達心理学Ⅱ	2	2		○	
		乳児保育Ⅰ	2			○	
		教育及び保育の対象理解 計	3	4			—
	教育及び保育の計画と方法	カリキュラム論	2			○	
		保育内容の指導法(総論)	1			○	
		保育内容の指導法(健康)	1			○	
		保育内容の指導法(人間関係)	1			○	
		保育内容の指導法(環境)	1			○	
		保育内容の指導法(言葉)	1			○	
		保育内容の指導法(表現)	1			○	
		特別支援教育演習Ⅰ	1			○	
		特別支援教育演習Ⅱ	1	1		○	
		乳児保育Ⅱ	1	1		○	
		教育相談	1			○	
		教育方法論	2			○	
		社会的養護Ⅱ	1			○	
		子どもの保健	2			○	
		子どもの健康と安全	1			○	
		家庭支援論	2			○	
		子どもの食と栄養	2			○	
	子育て支援	1			○		
		教育及び保育の計画と方法 計	12	11			—
	総括科目	保育・教職実践演習(幼稚園)	2			○	
		総括科目 計	2				—
実習	保育実習Ⅰ(保育所)	2				○	
	保育実習Ⅰ(施設)	2				○	
	保育実習指導Ⅰ	2			○		
	保育実習Ⅱ	2				○	
	保育実習指導Ⅱ	1			○		
	保育実習Ⅲ	2				○	
	保育実習指導Ⅲ	1			○		
	教育実習Ⅰ	1				○	
	教育実習指導Ⅰ	1			○		
	教育実習Ⅱ	3				○	
	教育実習指導Ⅱ	1			○		
	実習 計	18				—	
ゼミナール	基礎演習Ⅰ	2			○		
	基礎演習Ⅱ	2			○		
	ゼミナール 計	4				—	
	専門教育分野 計	25	54			—	
	総計	38	55			—	

履修規程別表第一

(歯科衛生士学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			
		必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○	
		英語 I	1				○	
		英語 II	1				○	
		医療手話	1				○	
	人間と社会	法律入門	2			○		
		現代の社会	2			○		
		コミュニケーション演習	1				○	
	人間と科学	心理学		1		○		
		情報処理	1				○	
		化学		1		○		
		スポーツレクリエーション		1			○	
		教養教育分野 計	10	3			-	
専門支持科目	人体の構造と機能	解剖学	2			○		
		生理学	1			○		
		組織発生学	1			○		
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	2			○		
		口腔生理学	2			○		
		歯牙解剖学	1			○		
	疾病の成り立ちと回復	病理学	1			○		
		微生物学	1			○		
		薬理学	1			○		
		栄養学	1			○		
		生化学	1			○		
		一般臨床医学	1			○		
	健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	衛生学・公衆衛生学	1			○		
		口腔衛生学	2			○		
		地域保健・保健統計	2			○		
		衛生行政・社会福祉・社会保障	2			○		
		人間関係論		1		○		
		専門支持科目 計	22	1			-	
	専門展開科目	歯科衛生士概論	2			○		
		臨床歯科医学	歯内療法学	1			○	
			保存修復学	1			○	
			歯周療法学	1			○	
歯科補綴学			1			○		
口腔外科学			1			○		
歯科矯正学			1			○		
小児歯科学			1			○		
高齢者口腔保健学			1			○		
障害者口腔保健学			1			○		
歯科放射線学			1			○		
口腔衛生管理				1			○	
歯科予防処置論			歯科予防処置法	2			○	
			う蝕予防処置法(臨床基礎)	1			○	
			歯周病予防法(臨床基礎)	2			○	
		う蝕予防処置法(臨床応用)	1			○		
		歯周病予防法(臨床応用)	2			○		
歯科保健指導論		保健指導論	1			○		
		保健指導演習 I (臨床基礎)	1				○	
		保健指導演習 II (臨床応用)	2				○	
		保健指導演習 III (臨床総合)	2				○	
		口腔リハビリテーション論	1			○		
歯科診療補助論		口腔リハビリテーション演習		1			○	
		歯科診療補助法(基礎知識)	2			○		
		歯科診療補助演習 I (基本技術)	2				○	
		歯科診療補助演習 II (臨床技術)	2				○	
		歯科診療補助演習 III (臨床総合)	2				○	
		感染予防法	1			○		
		臨床検査法	1				○	
		救急法・救急蘇生法	1			○		
		介護技術の基礎	1			○		
		審美歯科演習		1			○	
		実習	臨地実習 I (臨床基礎)	4				○
臨地実習 II (臨床応用)			8				○	
臨地実習指導(臨床応用)			1				○	
臨地実習 III (臨床総合)			8				○	
臨地実習指導(臨床総合)			1				○	
特別科目		歯科衛生研究法 I (臨床基礎)		1		○		
		歯科衛生研究法 II (臨床応用)		1		○		
		専門展開科目 計	61	5			-	
		総計	93	9			-	

履修規程別表第一

(栄養学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態		
		必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○	
		英語	1			○	
	人間と社会	現代の社会	2			○	
		法律入門	2			○	
		ビジネスマナー		1		○	
		人間関係論		1		○	
	人間と科学	心理学	1			○	
		情報処理	1				○
生活環境化学			1		○		
教養教育分野 計		8	3			—	
専門教育分野	専門支持科目	食生活論	1			○	
		社会福祉概論	1			○	
		公衆衛生学	2			○	
		生理学	2			○	
		解剖学	1			○	
		微生物学	1			○	
		生化学	2			○	
		生化学実験	1				○
		医学概論	1			○	
	専門支持科目 計		12				—
	専門基礎科目	食品学	2			○	
		食品学実験 I (基礎)	1				○
		栄養学	2			○	
		栄養学実験	1				○
		ライフステージ栄養学	2			○	
		ライフステージ栄養学実習	1				○
		栄養教育論	2			○	
		調理学	2			○	
		調理学実習 I (基礎)	1				○
		給食計画実務論	2			○	
		給食管理実習 I (基礎)	1				○
		専門基礎科目 計		17			
	専門展開科目	食品衛生学	2			○	
		食品衛生学実験	1				○
		食品加工学	1			○	
		食品学実験 II (応用)	1				○
		臨床栄養学	2			○	
		臨床栄養学実習	1				○
		公衆栄養学概論	2			○	
		栄養教育実習	1				○
		調理学実習 II (応用)	1				○
		給食管理実習 II (応用)	1				○
		食品とアレルギー	1			○	
		子どもと食育	2			○	
		摂食・嚥下機能と口腔ケア	1			○	
		スポーツと栄養	2			○	
	専門展開科目 計		19				—
	実践科目	校外実習	1				○
		調理学実習 III (実践・実験)	1				○
		栄養基礎演習	2			○	
		栄養総合演習	2			○	
	実践科目 計		6				—
	総計		62	3			—

履修規程別表第一
(観光ビジネス学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態		
		必修	選択	自由	講義	演習	実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1				○
		英語 I	1				○
		東北学	2			○	
		歴史と文化	2			○	
	人間と社会	法律入門	2			○	
		現代の社会	2			○	
		コミュニケーション論	2			○	
	人間と科学	情報処理	1				○
		教理リテラシー	1			○	
	教養教育分野 計		14				—
専門教育分野	基礎科目	経営学入門	2			○	
		マーケティング	2			○	
		観光概論	2			○	
		観光ビジネス論	2			○	
		国内観光地理	2			○	
		国際観光論	2			○	
		観光史と観光文化	2			○	
		基礎科目 計	14				—
	基幹科目	英語 II	1				○
		観光ビジネス英会話	2			○	
		ビジネスマナー	2			○	
		情報機器演習	1				○
	基幹科目 計		6				—
	展開科目	旅行ビジネス実務		2		○	
		エアラインビジネス実務		2		○	
		エアラインサービス		2		○	
		鉄道ビジネス実務		2		○	
		宿泊ビジネス実務		2		○	
		ホテル・ブライダルサービス		2		○	
		ホテル経営		2		○	
		ブライダルビジネス実務		2		○	
		ウェディングブライダル演習		1			○
		秘書実務		2		○	
		旅と文学		2		○	
		テーマパークビジネス		2		○	
		旅行業法		2		○	
		旅行業約款		2		○	
		国内運賃・旅費計算		2		○	
		国内観光資源		2		○	
		旅行業務演習		1			○
海外観光地理			2		○		
旅程管理			2		○		
東南アジアの言語と文化			2		○		
韓国語会話 I			1			○	
韓国語会話 II			1			○	
中国語会話 I			1			○	
中国語会話 II			1			○	
フランス語会話			1			○	
英会話基礎			1			○	
英会話応用			1			○	
観光英語			1			○	
TOEIC演習			1			○	
おもてなし英語			2		○		
観光英語ガイド基礎			2		○		
観光インターンシップ			1			○	
海外研修		1			○		
展開科目 計			53			—	
専門教育分野 計		20	53			—	
演習分野	基礎演習	基礎キャリア形成ゼミ	1			○	
		実践キャリア形成ゼミ	1			○	
		初年次ゼミ	1			○	
		基礎演習 計	3			—	
	専門演習	観光ゼミナール A		1		○	
		観光ゼミナール B		1		○	
		観光ゼミナール C		1		○	
		観光ゼミナール D		1		○	
		観光ゼミナール E		1		○	
	専門演習 計			5		—	
演習分野 計		3	5		—		
総計		37	58		—		

履修規程別表第一

(現代英語学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態			
		必修	選択	自由	講義	演習	実習	
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○		
		国際文化	2			○		
		歴史と文化	2			○		
	人間と社会	心理学		2		○		
		法律入門	2			○		
		現代の社会	2			○		
	人間と科学	情報処理Ⅰ	1			○		
		情報処理Ⅱ		1		○		
	教養教育分野 計		10	3			—	
	専門教育分野	専門基礎科目	Oral Communication I	2			○	
Oral Communication II			2			○		
Listening I			2			○		
Listening II			2			○		
Reading & Vocabulary I			2			○		
Reading & Vocabulary II			2			○		
Grammar & Composition I			2			○		
Grammar & Composition II			2			○		
専門基礎科目 計			16				—	
専門展開科目		Oral Communication III	2			○		
		Business Communication	2			○		
		Essay Writing	2			○		
		Media English		2		○		
		Public Speaking		2		○		
		Debating Skills		2		○		
		Extensive Reading		2		○		
		Advanced Reading		2		○		
		English for Tourism		2		○		
		Chorus English		2		○		
		Cinema English		2		○		
		Drama Workshop		2		○		
		海外研修		2			○	
		オンライン語学研修		1			○	
専門展開科目 計		6	21			—		
関連科目		ビジネスプロトコール	2			○		
		秘書実務		2		○		
		観光ビジネス論		2		○		
		エアラインサービス		2		○		
		フランス語Ⅰ		1		○		
		フランス語Ⅱ		1		○		
関連科目 計		2	8			—		
専門教育分野 計		24	29			—		
演習分野		演習科目	キャリア形成演習Ⅰ	1			○	
			キャリア形成演習Ⅱ	1			○	
			基礎ゼミ	1			○	
			総合演習Ⅰ	1			○	
	総合演習Ⅱ		1			○		
	総合演習Ⅲ		1			○		
	TOEIC Preparation			1		○		
	STEP Preparation			1		○		
演習分野 計		6	2			—		
総計		40	34			—		

専門展開科目：Public Speaking, Debating Skillsより2単位以上を必修とする

履修規程別表第一

(言語聴覚学科)

科目区分	授業科目の名称	単位数			授業形態		
		必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	1			○	
		英語 I	1				○
		英語 II	1			○	
		英文抄読	1			○	
		基礎英会話	1				○
	人間と社会	歴史と文化	1			○	
		現代の社会	1			○	
		暮らしの中の法律	1			○	
	人間と科学	大学生活論	1			○	
		情報処理	1				○
		統計学	1			○	
		健康スポーツ学 I	1			○	
		健康スポーツ学 II	1				○
教養教育分野 計		13				-	
専門支持科目	基礎医学	医学概論	1			○	
		病理学	1			○	
		解剖学	1			○	
		生理学	1			○	
	臨床医学	内科学	1			○	
		臨床神経学	1			○	
		小児科学	1			○	
		精神医学	1			○	
		リハビリテーション医学	1			○	
		耳鼻咽喉科学	1			○	
	臨床歯科医学	形成外科学	1			○	
	音声・言語・聴覚医学	臨床歯科医学・口腔外科学	1			○	
		呼吸発声発語系の構造・機能・病態	1			○	
		聴覚系の構造・機能・病態	1			○	
	心理学	神経系の構造・機能・病態	1			○	
		臨床心理学	1			○	
		生涯発達心理学	1			○	
		神経心理学	1			○	
		心理測定法	1			○	
		福祉心理学	1			○	
		認知・学習心理学	1			○	
	心理学系総論	1			○		
	言語学	言語学	1			○	
		日本語文法学	1			○	
	音声学	音声学	1			○	
		音声表記・分析学	1				○
	音響学	音響学	1			○	
聴覚心理学		1			○		
言語発達学	言語発達学	1			○		
	社会福祉・教育	1			○		
	リハビリテーション論	1			○		
専門支持科目 計		31	0	0		-	
専門教育分野	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害学の基礎	1			○	
		言語聴覚障害学診断学	1			○	
		言語聴覚障害学総論	1			○	
		言語聴覚障害学臨床応用	1			○	
	失語症・高次脳機能障害学	失語症概論	1			○	
		高次脳機能障害概論	1			○	
		失語症・高次脳機能障害 I	1				○
		失語症・高次脳機能障害 II	2				○
	言語発達障害学	高次脳機能系総論	1			○	
		言語発達障害 I	1			○	
		言語発達障害 II	2			○	
		脳性麻痺・運動発達の障害	1			○	
	発声発語・嚥下障害学	学習障害・発達障害	1			○	
		拡大・代替コミュニケーション	1			○	
		音声障害	1			○	
		器質性・機能的構音障害	1			○	
		運動障害性構音障害 I	1				○
		運動障害性構音障害 II	2				○
		吃音概論	1			○	
	聴覚障害学	摂食嚥下障害 I	1				○
		摂食嚥下障害 II	2				○
		成人・小児の聴覚障害	1			○	
		聴能・発語訓練演習	1			○	
		聴力検査	1			○	
		視覚聴覚二重障害・重複障害	1			○	
		補聴器・人工内耳	1			○	
	臨床実習	聴覚障害学総論	1			○	
音と聴力		1			○		
臨床実習 I (見学実習)		1				○	
臨床実習 II (評価実習)		3				○	
臨床実習 III (総合実習前期)		4				○	
	臨床実習 IV (総合実習後期)	4				○	
専門展開科目 計		44	0	0		-	
専門独自科目	自然科学概論	1			○		
	生命科学の基礎	1			○		
	口腔顔面の感覚・運動障害総論	1			○		
	地域リハビリテーション論	1			○		
	認知症のリハビリテーション	1			○		
	神経の診かた	1			○		
	動作分析の基礎	1			○		
	疾病論	1			○		
	口腔衛生論		1		○		
	リハビリテーション栄養学		1		○		
	保険診療・介護保険制度		1		○		
	視覚言語論		1			○	
	補綴・補装具論		1		○		
	言語聴覚学特別講義 I			2	○		
	言語聴覚学特別講義 II			2	○		
	専門独自科目 計		8	5	4		-
	専門教育分野 計		83	5	4		-
総計		96	5	4		-	

履修規程別表第二

厚生労働省告示による科目				こども学科 開設科目			保育士資格 取得時の 履修方法	
系列	教科目	授業 形態	単位数	教科目	授業 形態	単位数		
教養科目	外国語	演習	2 以上	英語Ⅰ	演習	1	全て履修する	
				英語Ⅱ	演習	1		
	体育	講義	1	体育基礎	講義	1		
	体育	実技	1	体育実技	実技	1		
	その他		6 以上	日本語表現法	演習	1		
				情報処理Ⅰ	演習	1		
				法律入門	講義	2		
				現代の社会	講義	2		
教養科目			計	教養科目			計	10
保育の本質・目的 に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	全て履修する	
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		
	子ども家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2		
	保育者論	講義	2	教職論	講義	2		
			計	計			14	
保育の対象の理 解に関する科目	保育の心理学	講義	2	生涯発達心理学Ⅰ	講義	2	全て履修する	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	生涯発達心理学Ⅱ	講義	2		
	子どもの理解と援助	演習	1	子ども理解の理論と方法	演習	1		
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		
			計	計			9	
保育の内容・方法 に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	カリキュラム論	講義	2	全て履修する	
	保育内容総論	演習	1	保育内容の指導法（総論）	演習	1		
	保育内容演習	演習	5	保育内容の指導法（健康）	演習	1		
				保育内容の指導法（人間関係）	演習	1		
				保育内容の指導法（環境）	演習	1		
				保育内容の指導法（言葉）	演習	1		
				保育内容の指導法（表現）	演習	1		
	保育内容の理解と方法	演習	4	総合表現演習Ⅰ	演習	1		
				総合表現演習Ⅱ	演習	1		
				音楽表現Ⅰ	演習	1		
				造形表現	演習	1		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1		
	障害児保育	演習	2	特別支援教育演習Ⅰ	演習	1		
特別支援教育演習Ⅱ				演習	1			
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1			
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1			
			計	計			20	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2	全て履修する	
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		
			計	計			6	
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2	履修する	
必修科目			計	必修科目			計	51
選択必修科目	保育に関する科目 （上記の系列に より科目設定）		15 以上	幼児と表現	講義	2	保育実習Ⅱと 保育実習指導Ⅱ 又は保育実習Ⅲと 保育実習指導Ⅲ を含む9単位以上 選択して履修する	
				幼児と人間関係	講義	1		
				幼児と健康	講義	1		
				幼児と環境	講義	2		
				教育方法論	講義	2		
				教育制度論	講義	1		
				レクリエーション論	講義	1		
				日本国憲法	講義	2		
				教育相談	演習	1		
				音楽表現Ⅱ	演習	1		
				音楽表現Ⅲ	演習	1		
	情報処理Ⅱ	演習	1					
	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2		
	又は保育実習Ⅲ			保育実習Ⅲ	実習	2		
保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	1			
又は保育実習指導Ⅲ			保育実習指導Ⅲ	演習	1			
選択必修科目			計	選択必修科目			計	22
※18単位以上開設								
保育士79単位			合計	保育士			合計	83

履修規程別表第三

法令上の規定			こども学科開設		幼稚園教諭二種免許状取得時の履修方法			
法令による規定科目	右項の各科目に含めることが必要な事項	単位数	教科目	単位数	必修	選択	備考	
教育職員免許法施行規則第66条の6 で特に必要なものとして定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2	2			
	体育	2	体育基礎	1	1			
			体育実技	1	1			
	外国語コミュニケーション	2	英語 I	1	1			
			英語 II	1	1			
情報機器の操作	2	情報処理 I	1	1				
		情報処理 II	1	1				
計		8	計	8	8	-		
第1欄 教科及び 教職に関する科目	第2欄 領域及び保育内容の指 導法に関する科目	領域に関する専門的事項 保育内容の指導法（情報機器及び 教材の活用を含む。）	幼児と環境	2	2			
			幼児と健康	1	1			
			幼児と表現	2	2			
			幼児と人間関係	1	1			
			保育内容の指導法（総論）	1	1			
			保育内容の指導法（健康）	1	1			
			保育内容の指導法（人間関係）	1	1			
			保育内容の指導法（環境）	1	1			
			保育内容の指導法（言葉）	1	1			
			保育内容の指導法（表現）	1	1			
	計		12	計	12	12		
	第3欄 教育の基礎的理解に関 する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及 び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 （チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営 的事項（学校と地域との連携及び学校 安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び 学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及 び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリ キュラム・マネジメントを含む。）	教育原理	2	2			
教職論			2	2				
教育制度論			1	1				
生涯発達心理学 I			2	2				
特別支援教育演習 I			1	1				
カリキュラム論			2	2				
計		6	計	10	10			
第4欄 道徳、総合的な学習の 時間等の指導法及び生 徒指導、教育相談等に 関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教 材の活用を含む。） 幼児理解の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基 礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育方法論	2	2				
		子ども理解の理論と方法	1	1				
		教育相談	1	1				
計		4	計	4	4			
第5欄 教育実践に関する科目	教育実習	教育実習指導 I	1	1				
		教育実習 I	1	1				
		教育実習指導 II	1	1				
		教育実習 II	3	3				
	学校体験活動							
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	2			
計		7	計	8	8			
第6欄 大学が独自に設定する 科目		2		-	-		第2～5欄で2単位以上開設して いるため独自科目開設せず	
計		31	計	34	34	-		

履修規程別表第四

栄養士法施行規則			栄養学科開設		
教育内容	単位数		授業科目名	単位数	
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習
社会生活と健康	4		公衆衛生学	2	
			社会福祉概論	1	
			食生活論	1	
			小計	4	0
人体の構造と機能	8	4	解剖学	1	
			生理学	2	
			生化学	2	
			生化学実験		1
			微生物学	1	
			医学概論	1	
			摂食・嚥下機能と口腔ケア	1	
			小計	8	1
食品と衛生	6		食品学	2	
			食品学実験Ⅰ（基礎）		1
			食品学実験Ⅱ（応用）		1
			食品衛生学	2	
			食品衛生学実験		1
			食品加工学	1	
			食品とアレルギー	1	
小計	6	3			
栄養と健康	8		栄養学	2	
			栄養学実験		1
			ライフステージ栄養学	2	
			ライフステージ栄養学実習		1
			臨床栄養学	2	
			臨床栄養学実習		1
			スポーツと栄養	2	
小計	8	3			
栄養の指導	6	10	栄養教育論	2	
			栄養教育実習		1
			公衆栄養学概論	2	
			子どもと食育	2	
小計	6	1			
給食の運営	4		調理学	2	
			調理学実習Ⅰ（基礎）		1
			調理学実習Ⅱ（応用）		1
			調理学実習Ⅲ（実践・実験）		1
			給食計画実務論	2	
			給食管理実習Ⅰ（基礎）		1
			給食管理実習Ⅱ（応用）		1
校外実習		1			
小計	4	6			
合計	36	14	合計	36	14